

# 神戸赤十字病院 ..... 守殿 貞夫



病院と旧須磨赤十字病院が発展的に解消し、新組織として「神戸赤十字病院」が発足しました。当院の事実上のオープンは、平成15年8月1日で、神戸市中央区脇浜海岸通で併設の「兵庫県災害医療センター」と共に診療を開始しました。

## 病院の概要

当院は、病床数310床、診療科目20診療科、平均稼働率91.7%、平均在院日数15日前後の急性期病院です。また、基幹災害医療センター、臨床研修指定病院、日本機能評価機構認定病院（Ver.4）、治験業務 ISO 9001:2000および DPC 対象病院の認定を受けております。

平成18年12月現在、紹介率65%・逆紹介率75%前後を推移し、前述した「地域医療支援病院」としての認定を申請しているところです。

また、救急医療、災害救護活動、国際救援活動も当院の重要な使命であり、神戸空港開港に備えての航空機事故を想定した神戸空港での消火救難・救急医療活動の総合訓練にもチームを組織し参加するなど、日頃から訓練を重ね、災害救援、救命活動に備えております。

兵庫県災害医療センターは当院が兵庫県から運営を委託されている施設です。当院が1・2次救急（軽症、中等症）を、センターが3次救急（重

## はじめに

当院は今年の8月で開院後5年目に入ります。私たちは、医の倫理と人道・博愛の赤十字精神にもとづき、患者さまの健康に奉仕することを基本理念とした医療を目指しております。患者さまの声に耳を傾け、患者さまを中心とした、安心と満足が得られる医療を提供するために、地域の医療機関と強い連携を保ち、「病院が変わると少し不安かな」と患者さまが思われないうように、地域完結型の一貫した医療を提供できるよう常に努めてまいります。この事と関連して、現在、地域医療支援病院の指定を頂けるよう申請中です。開院間もないですが、各診療科（小児科、皮膚科を除く）は専門医教育認定施設に指定されており、多くの若い研修医、専攻医の先生方と共に全員一丸となって日夜頑張っております。

## 所在地

当院は、神戸市の中心地より東へ

約2kmの神戸東部新都心といわれるHAT（ハット）神戸（Happy Active Town：幸福で活気あふれる街）に位置しており、同敷地内には兵庫県災害医療センターが併設されています。

HAT神戸は、阪神・淡路大震災後に、この地にあった神戸製鋼所や川崎製鉄阪神製造所の広大な跡地に震災被災者の住居を中心に、それに伴う付帯施設の建設から創られていった街です。その後、ここHAT神戸では、震災に係る防災研究ならびに文化、教育関係や国際的な機関など多くの施設が参入し、国際交流の場としても賑わっています。地方からの見学者が多い「人と防災未来センター」、「WHO神戸センター」、「JICA兵庫」や「兵庫県立美術館」などの施設があります。

南には海が広がり、山側には六甲山が迫り、四季折々を感じる素敵な街です。

## 沿革

平成14年10月1日、旧神戸赤十字



写真左端下：日本赤十字社兵庫県支部，中央：当院とセンター（外観は一つの施設）

症)と連携し、日夜地域の救急医療に努めております。両施設の医師間ならびに、手術室やICU室間に垣根はなく、臨機応変にチーム医療を行っております。若い医師の3次救急を含む救急医療の研修に最適の病院と自負しております。

兵庫県災害医療センター(病床数30床、ヘリポート設備)は、平成18年6月1日付で兵庫県では初めての「高度救命救急センター」として承認を受けました。高度救命救急センターとは、24時間体制での通常の救命救急医療機能に加えて、四肢切断、広範囲熱傷および急性中毒に対して高度医療を提供できる施設です。繰り返しになりますが、当院と兵庫県災害医療センターは、地域の救命救急医療に貢献すると共に、わが国での救命救急医療の更なる向上を目指し努力しております。

神戸赤十字病院は病院開院4年目、活気ある先生やコメディカルスタッフが忙しく働いている元気な病院であると共に、患者さまへの最高のホスピタリティを提供できる病院として育ってきております。加えて、岡山大学大学院医歯薬総合研究科附属病院の関連病院として相応しい病院と評価頂ける様に努めております。

## 教育・新臨床研修について

教育・新臨床研修に最適の環境を提供します。

当院の基本方針の一つである「内外の医療従事者の育成に努めます」を社会的責務と考え、教育、研修に精力的に取り組んでいます。医学部学生をはじめ多くの部署で学生実習を受け入れています。

医師の初期臨床研修については、立派な医師として成長していくため

表1 標榜診療科(20診療科)

内科	循環器科	呼吸器科	消化器科	心療内科
心臓血管外科	呼吸器外科	外科	整形外科	脳神経外科
神経内科	婦人科	小児科	泌尿器科	耳鼻咽喉科
眼科	皮膚科	放射線科	麻酔科	リハビリテーション科

に必要な基本を身につけることを第一目標としています。卒後の2年間は、将来の自分を形成していく基となる重要な時期であるという認識の下に、医師としての基本およびプライマリーケアの習得を目標としたプログラムを作成しています。指導医は熱い情熱を持った医師が多く、マンツーマンで十分な研修・指導を行える研修体制を組んでいます。また当院は、先にも述べたとおり、救急を中心とした急性期疾患患者を診る機会が多く、プライマリーケア能力の習得に適した研修病院であると思っております。

専門医取得を目標とする後期研修についても各診療科で積極的に行っていますし、後期研修医の多くは原則的に公募で採用しています。また、日本赤十字社で認定された後期研修プログラムも提供しています。専門医取得後の医師としての研修・研鑽についても十分な症例数ときちんとした指導体制の下で、実施しております。さらに、地域の医療従事者向けの研修会やカンファレンスを適宜実施して、地域医療の向上にも寄与しています。

最後になりましたが、このたびは伝統ある岡山医学会雑誌に当院の紹介記事を掲載して頂きますことを深く感謝申し上げます。貴医学会の益々のご隆盛を祈念いたしております。

表2 平成18年：麻酔別手術件数

全麻	1,456
脊麻	358
局麻	466
その他	121
合計	2,401

表3 平成18年：救急患者数

救急車搬送数	3,027
その他	8,466
合計	11,493

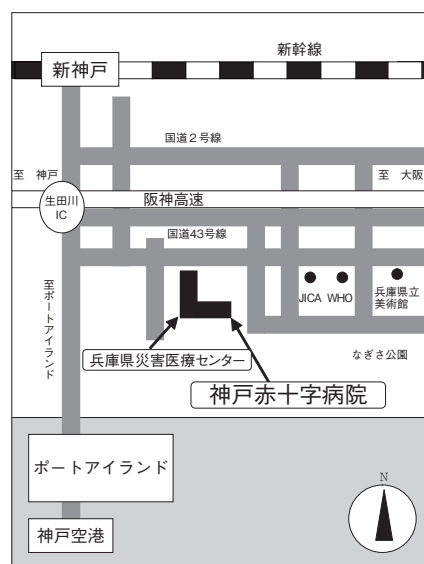


図 神戸赤十字病院と兵庫県災害医療センター

平成19年2月受理  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目3番1号  
電話：078-231-6006 FAX：078-241-7053  
E-mail：syomu@kobe.jrc.or.jp  
http://www.kobe.jrc.or.jp/